



とびら

第20号

2019.8



中能登中学校2年生 わくワーク職場体験

【主な内容】

- ・一般質問 町政を問う 議員7名登壇 5～8ページ
- ・旧鹿西中の改修費再試算 庁舎統合建設特別委員会 11ページ
- ・突撃インタビュー（中学校生徒会役員に聞く） 13ページ

平成30年度 一般会計補正予算は
3億7千377万1千円を減額補正して総額100億9千715万4千円になりました。

Q 減額補正理由を聞く。

地方創生推進
交付金事業

ななお・なかのと
DMO地域連携
事業補助金
258万5千円
減額補正

A 2名の募集に対して、要件に見合う方がおらず採用が遅れた分の人件費である。
(担当課：企画課)

扶助費

心身障害者
医療費
373万4千円
減額補正

Q 減額補正理由を聞く。

A 対象人数は減っていないが、1人当たりの件数が減ったため。(担当課：保健環境課)

Q 申請対象者のうち、申請しなかった方はいたか。

学校給食管理費

学校給食費
助成金
559万4千円
減額補正

A 対象者748名に対し、申請者は747名で1名の方が未申請であった。減額補正は、当初対象者を820名と見込んでいたため。
(担当課：教育文化課)

土木総務費

がけ地災害
防止事業
130万円
減額補正

Q 減額補正理由と相談件数は。

A 相談件数は3件で、要件に合わなく申請に至らなかったのが減額となった。
(担当課：土木建設課)

令和元年度 一般会計補正予算は
4千299万9千円を増額し102億9千599万円になりました。

歳入

Q 国庫支出金で400万円の予算付けは。

A 国の地方創生推進交付金との名目で事業費800万円に
対する補助率2分の1として交付金400万円の交付による
(担当課：総務課)

歳出

Q 地方創生推進交付金事業で、繊維産業のみらいを担う地域商社
プラットホーム化委託料800万円の内容は。

A ①能登上布のブランド化に向けた計画策定及び商品開発事業
事業費は400万円
②デザイン資源の有効活用及び販売の開拓事業
事業費は150万円
③プロフェッショナル人材確保育成事業 事業費は100万円
④情報発信推進事業 事業費は150万円
事業期間は、2019年～2021年度の3年間計画で、商工会
に委託して実施される。
(担当課：企画課)



6月定例会議 採決の結果

提出された議案に対して、議員が賛成・反対の意思をあらわして、
議案の成立の可否が決定します。



全議員が賛成して可決された主な議案

(議長は、採決には加わりません。)

結果	町長提出議案
可決	中能登町公共用施設維持補修基金条例を廃止する条例について 内容 → 平成12年から電源立地促進対策交付金を財源として、鳥屋学園プールの維持補修費に充当していた基金について、平成30年度末で残高がなくなったため。
結果	請願
採択	国の教育予算を拡充することについて

6月定例会議 採決の結果



請願とは??

請願は、国や地方公共団体をはじめとする機関に意見や要望を述べるができる権利で、請願権は国民の基本的権利のひとつです。議会へ請願書を提出する場合は、必ず1名以上の「議会議員の紹介」が必要です。当議会では、請願について議会運営委員会で審議し、所管の委員会へ付託しています。

本会議で賛否が分かれた議案

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥
(議長は、採決には加わりません。)

結果	議案名	議員名									
		古玉 いづみ	尾田 良一	土本 稔	林 真弥	笹川 広美	南 昭榮	諏訪 良一	甲部 昭夫	坂井 幸雄	作間 七郎
請 願											
不採択	難病の治療に関わる経済的負担を緩和する制度創設に向けた要請	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×

討 論 難病の治療に関わる経済的負担を緩和する制度創設に向けた要請

反対します



南 議員 国、県と連携した制度にすべき

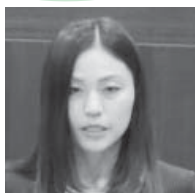
この請願の趣旨は、治療や診察する場合の交通費、宿泊費、看護する側の収入減など経済的負担が大きくなり、治療に関わらない項目は、公的な助成の対象外であるため、新たに町独自の制度創設の請願であります。いろいろ議論すべき問題が多く、今の中能登町では、単独での制度創設は困難であります。国や県と連携を取りながら、社会全体で支え合うべきと考え反対します。



土本議員 すべての人に選択肢を

請願では難病の治療を継続に安心して受けられるよう、とりわけ子どもの将来の選択肢を広げるためとあります。しかし、難病の子どもだけでなく障害を持つ若者、介護が必要な大人など、全ての人々に等しく将来の選択肢を広げたい。町独自の制度には限界がある、国や県と連携しながら幅広い視野で取り組まなければなりません。平成から令和へと新しい時代に求められるのは、難病の子どもと家族を「地域で支える体制」を整え、医療、福祉、教育、子ども、家族を支える専門家をつないで、子どもと家族の社会的孤立を防ぎ、みんながみんなを支える取組みを推進すべきと考え、各議員に賛同を求め、反対討論するものであります。

賛成します



古玉議員 子育て世帯に新たな助成を

第一に、実際に中能登町に難病認定を受けて闘病している子どもがいること。そして、その子どもの家族の治療費以外の遠距離の通院費や入院時における交通費等の経済的自己負担が大きいこと。第二に、経済的圧迫に伴いその闘病している子の兄弟姉妹たちの進路進学への道が狭まってしまうこと。第三に、県内初の試みとして本当に支援を必要としている子どもたちのいる家庭を助成出来、子どもたちからお年寄りまで安心して暮らすことのできる町にしていくうえで、必要な制度であると考え賛成いたします。

『一般質問』で町政を問う

「一般質問」とは議会の定例会議中に、議員が町の町政について質問することです。

一般質問のルール

- その1 質問内容の項目は事前に町に通告する
- その2 質問時間は1人60分以内
- その3 同じ質問内容は、3回までしかできない
- その4 町は議長の許可を得て、質問の趣旨を質し、逆に質問できる



一般質問の項目は、町ホームページに掲載しており、過去の一般質問は、YouTube 中能登町議会チャンネルでご覧いただけます。
(ユーチューブ)

問 特別支援学級の課題と方向性

答 定数改善や教員育成に取り組む



林 真弥 議員

②学級定数の改善を要望すると共に、教員育成にも注力したい。

【林】他市町だが、1クラス4学年を担任された先生の話しを聞いたことがある。定数改善と教員育成の県への要望を重ねて求める。特別支援学級で学ぶ子供たちからできる発想や視点や能力に気づき、それが発揮できる教育環境に是非していただきたい。

その他の質問▼財政計画策定

【林】町内の小中学校では、合わせて13の特別支援学級があると聞くが、近年ここで学ぶ子供が増える傾向にあることも聞く。これについては、教育委員会等のご尽力に敬意を表すが、1点だけ述べたいことは、特別支援と普通学級の子供間に学ぶ機会に違いがあつてはならないということだ。それを前置きした上で2点尋ねる。①クラス編成時に配慮すべき点②今後の課題と方向性

【教育長】①特別支援学級の定数は8人と定められている。一人一人のニーズに応じた指導や支援を理念とし、本人の教育を第一に考えている。教職員の立場からは、特性に応じた配慮の下、指導内容の工夫が求められ、専門員の助言も仰ぎながら取り組んでいる。



特別支援学級の授業風景

問 スローツーリズムについて問う

答 伝統文化から観光資源発掘を目指す



坂井 幸雄 議員

ーマに、当町に存在する地域資源にこれまで以上の価値を上乘せする検証も実施していると伺っている。

【坂井】現在の活動組織と活動状況について問う。

【企画課長】船木清崇会長を中心に、町内外の有志と地域おこし協力隊の計9名で活動されている。2月には調査検証進捗状況報告会が行われ、6月29日には講演会が開催される予定だ。

その他の質問▼AED研修会
▼邑知潟断層帯

【坂井】中能登スローツーリズムは何を目指しているのか？

【町長】昨年10月から各種団体と連携し、地域に根付く資源の調査事業を実施している。特に、暮らしの中で不可欠な衣食住をテ



なかのとスローツーリズム講演会

問 町長も百歳体操教室へ！

答 一度出向き広めたい！



笹川 広美 議員

【笹川】健康長寿の延伸のための取り組みとして①地域つながりサロン・運動教室の状況②百歳体操の更なる充実と推進③買い物リハビリの導入、以上3点で答弁を求めらる。

【町長】①介護予防教室として、地域サロン36カ所、百歳体操23カ所を実施。課題としては、参加者の固定化や介護予防教室がないこと等が挙げられる。住民主体の取り組みを促す。②筋力低下の簡易テスト、リハビリ専門職の活動支援等を充実させ、栄養や口腔機能の対策も行う。③まずは、介護予防教室を町内全域に広めたい。買い物リハビリは今後、当町での有効性を研究したい。

その他の質問▼ユニバーサルマナーの普及 ▼イクボス宣言

買い物リハビリ↓高齢者が送迎付きで買い物をし、健康状態のチェックを受ける。
ユニバーサルマナー↓ 高齢者、障がい者、外国人等、多様な人たちと共に暮らすための心遣いや行動
イクボス↓ 部下や同僚の育児や介護に理解を示し、自らも両立に取り組みリーダー。



楽しく 百歳体操

問 危険な旧豚舎の対策を

【答】必要な場合は対応する



南 昭榮 議員

【南】瀬戸・春木線に約100Mにわたり、放置されたままの旧豚舎がある。大半が倒壊し、一部屋根のトタン板が台風等により道路に飛散して危険な状況だ。家畜用サイロも倒壊する危険が迫っており、環境美化の観点からも適切な処置を求める。

【町長】平成28年度空き家等実態調査で旧豚舎を調査対象としており、所有者に処置をお願いした経緯はあるが、現状は変わっていない。今後の対応としては、空き家等に関する特別処置法に基づき、周囲に危険を及ぼすものに対して対策が必要と判断した場合には適切に対応する。

【南】町が代執行で解体撤去を行

い、所有者に費用を請求できないか。

【企画課長】町内には複数の危険空き家があり、生活環境や景観の悪化、不特定多数者の生命財産に危険を及ぼすものも存在している。緊迫性が高いものは所有者へ指導を行い改善がない場合は、勧告、命令を経て代執行となる。旧豚舎については、現地調査を行い、対策を講じたい。

その他の質問▼小型特殊自動車の登録状況と今後の方策



放置されたままの旧豚舎

問 町政の針路を示せ

【答】未来に向けた町づくりに努める



諏訪 良一 議員

【諏訪】新たな時代の幕開けを契機に、心機一転、町政の躍進が求められているが、それについて2点で問う。①町政発展についての所見②新たな時代への施政方針

【町長】合併特例の恩恵もなくなり、更には、少子高齢社会による自主財源減少が避けられないことから、緊縮財政に舵を切らざるを得ないと考える。平成28年度に第二次中能登町総合計画を策定しており、「ふるさと・ふれあい・心を育む・中能登町」を基本理念とし、本当に住んで良かったと思える町づくりの各種事業に今後も取り組んでいく所存である。

【町長】少子高齢社会により、これまで経験がない人口減少時代を

迎える事から、平成28年3月に策定した中能登町人口ビジョン「中能登町・まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、地域の産業を活性化し、全ての町民が生き生きと暮らし活躍できる町をコンセプトに、多角的な視野で事業を展開していく。事業展開にあたり、町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いしたい。

その他の質問▼空き家（古民家）創生による地域おこし



議会が行われる鳥屋庁舎

問 見守るからもう一歩踏み込め

答 ゲートキーパー養成を勧める



尾田 良一 議員

【尾田】日本全体での引きこもり人口は100万人以上だと言われている。それを受けて東京都等は「引きこもりサポート制度」等が対象年齢を拡げて素早い対応をとっている。当町ではそのような制度はないので、各区長や民生委員の方々がこまめに見回りをしていただきたいと思う。お節介かもしれないが、世間というものを一番敏感に感じられる立場におられるので、たとえお節介だと言われようともより一層頑張ってもらわなければならぬ。町としても今後は「見守る」から「もう一歩踏み込んだ形」で行動する必要があるのではないか。

【町長】ゲートキーパーの役割を



9/10～9/16は自殺予防週間

その他の質問▼勝山城の維持保全と観光課の新設

理解し、対応できる人が増えていくことは重要な事であると考え、幅広い分野の方にゲートキーパー養成講座の受講をお願いしている。町としては今後も幅広い分野の方々にゲートキーパー養成講座の受講を勧めていき、一人でも多くの方にゲートキーパーとして対応できるようになっていたきたいと考える。

問 5月10日の庁舎委員会での答弁の真意は

答 大規模災害に備える



古玉いづみ 議員

性がある庁舎について、旧鹿西中学校に移転させ、大規模災害に備えることが一番大切であるという趣旨で発言した。

【古玉】平成26年4月より5年にわたり24回開催されてきた庁舎統合建設特別委員会において町長は一貫して統合庁舎案を提示してきた。行財政、防災を理由としてきたが、3月25日開催の委員会です。その中で「土砂災害で言えば、鹿西小学校もその中に入っているのではないか」との問いに、「まずは役場の業務継続が一番大事だと考えている。当然ながら子供たちの命も大事だ。ですが、まずは役場業務を災害時にしっかり対応できる体制構築が本当に大事だと思っ

ている」と高名参事は答弁された。その真意を聞く。

【総務課長】大規模災害に備えて、耐震化されておらず被災する可能



堰堤に守られる鹿島小学校

【町長】県の条例に基づき建設した。堰堤があり地震や緊急性がな限り安全である。

【古玉】土砂災害警戒区域に鹿西と鹿島の2小学校がある。庁舎移転を防災上の理由として挙げているが、整合性がないのでは。



屋内は原則禁煙に！ なくそう！望まない受動喫煙

望まない受動喫煙の防止を図るため、当該施設等の一定の場所を除き喫煙を禁止するとともに、その管理に関し講ずべき措置等について定めるもの。当町においては、第一種施設の中でも行政機関の庁舎では、屋外に特定の喫煙場所を設置するが、児童福祉施設や学校では設置しないとのこと。

委員からは違反者に対する対応について質疑があり、口頭注意でも改善が認められなければ、県から指導があるとの説明を受ける。



特定屋外喫煙場所お知らせの標識



第一種施設とは・・・

学校、児童福祉施設、病院、診療所、行政機関の庁舎などで、敷地内禁煙となっていますが、屋外で受動喫煙を防止するために必要な措置がとられた場所に、喫煙場所を設置することができます。2019年7月1日施行。

低所得者層の保険税を軽減 中能登町国民健康保険税条例の 一部を改正する条例



承認第2号、専決処分の承認を求めることについて（中能登町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について）、基礎課税額にかかる課税限度額を3万円引き上げ、また、軽減措置の対象を拡大するために、5割軽減及び2割軽減基準額の軽減判定所得の基準額を引き上げることにより、保険税はどのようになるのかとの質疑があった。基礎課税額の課税限度額を見直すことで高所得者層には負担増になるが、該当する世帯が19世帯から18世帯になることや、軽減判定所得の基準額を見直すことで、低所得者層の保険税負担の軽減を図ることができるとの返答を得た。



令和元年度

中能登町総合計画の実施計画が策定される

～大型プロジェクトとして「町営住宅建替事業」を推進～

町営住宅は154戸あり、川田・久江・芹川住宅は築30年以上経過している。老朽化とともに、旧耐震基準であることから建替を進めている。

- ア. 今年度中に、川田住宅が完了予定
- イ. 建替が必要な久江及び芹川住宅については、事業の効率化・財政負担の軽減等を鑑みて、民間のノウハウを利用したPPP / PFIを事業手法として計画を進めている。



PPPとは・・・

行政 (Public) が行う各種行政サービスを、行政と民間 (Private) が連携 (Partnership) し民間の持つ多種多様なノウハウ・技術を活用することにより、行政サービスの向上、財政資金の効率的使用や行政の業務効率化等を図ろうとする考え方や概念。

PFIとは・・・

PFI法（民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律）に基づき、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法でPPPの考え方を行政として実現するための手法の一つで、PFIの導入により、事業コストの削減及びより質の高い公共サービスの提供を目指します。

質問：委員質疑

分譲宅地造成事業の計画は。

回答：町答弁

今年度は、良川駅東地域のみで、2年・3年度の計画は無し。



川田住宅（建替前）



川田住宅（建替後）

旧鹿西中の改修費再試算

6月27日に開催された特別委員会では、耐震性に問題がある鹿島、鹿西庁舎の所管課を旧鹿西中学校1階部分を改修して移設する案について、執行部に事業費を再試算するように求めた。

執行部は旧鹿西中学校舎1階部分を改修し、鹿島庁舎の情報推進課、上下水道課、土木建設課、農林課の4課と鹿西庁舎の住民福祉課、長寿介護課、保健環境課の3課を集約する案を議会側に求めており、概算事業費には7億7000万円を見込む。鳥屋庁舎とラピア鹿島の所管課は現状のまま残すことで、分庁舎方式を維持する。

27日の特別委員会では、委員11人が旧鹿西中学校舎内を視察した。委員から「概算工事費より安く改修できるのではないか」と疑問視する意見が上がり、資材費や工事内容を含む詳細な数字を算出し、分庁舎案の検討材料とする。また、ラピア鹿島内に窓口業務を設置するよう要望した。

議会側の要請を受け執行部は、今年度当初予算に計上している1500万円の関連経費を充てる予定で、業者と契約し次回特別委員会で結果を説明する方針となった。



6月27日庁舎統合建設特別委員会



旧鹿西中学校内を現地視察

広報特別委員会



住民に読まれ、伝わる

『議会だより とびら』を目指して！

議会広報研修会が7月30日(火) 津幡町文化会館シグナスにおいて開催され議会広報特別委員会6名が参加しました。月刊誌『地方議会人』にも記事を掲載する議会広報サポーター 芳野政明氏の公演とクリニックでした。

第1部『議会だより』の基本と編集においては、

広報は議会に住民参加を「促す」重要なツールであることを再確認しました。

「情報無くして参加なし」

議会から住民へのより質の高い情報提供や情報共有が
自治意識の向上へは欠かせません。

「主人公は読者」

読み手側である町民にとって関心の高い情報は何かを考え、
企画編集すること、議会の活動内容を分かりやすく伝える
ことの大切さを改めて感じました。

「社会教育の材料となり得る」

この低投票率の時代に、より住民参加を促し主権者教育の
ツールとなる誌面作りを行う必要があります。



第2部のクリニックにおいては

実際に「とびら」の改善点や課題点を指摘されました。

写真や見出し文の工夫を課題点として指摘され、シリーズで行なっている企画や
住民インタビューは評価されました。

今後は1人でも多くの方に手にとっていただける広報誌、開かれた議会を目指して
取り組んでまいります！

行革・活性化特別委員会



町民に身近な議会を目指して！ —ワールドカフェ研修を実施—

7/31(水) 町社会福祉センターで、(株)ル・ソレイユ代表取締役の吉谷奈艶子さんを講師に迎え、議員11名全員が参加しました。「これからの中能登町」をテーマに、議会職員も加わり、3つのテーブルに分かれ「ワールドカフェ」とは、どのようなものかを体験しました。なごやかな雰囲気の中、これまでにない自由な発想や意見が活発に交わされました。今後、若い世代の皆さん、さまざまな団体等との懇談の場に活用したいと考えています。

ワールドカフェ：カフェに居るようなリラックスした雰囲気の中、少人数に分かれたテーブルで、自由に対話を行い、他のテーブルのメンバーをシャッフルしながら話し合いを展開させていくコミュニケーション手法

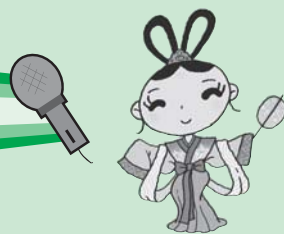


～たくさんのお声、ありがとうございました!!～

今年の町祭も、議会ブースを設置しました。令和の新時代を迎え、皆さんの「夢」「目標」そして「こんな中能登町に！」との思いを伺いました。5歳の女の子から80代のご年配まで、多くの皆さんと語り合える場となりました。



突撃インタビュー



質問内容

- ① 議会と聞いて、まず連想することはなんですか？
- ② 生徒会役員には自薦ですか他薦ですか？
(自薦・他薦の理由も)
- ③ 生徒会役員を経験して良かったこと、
あまり良くなかったこと
- ④ 自分の未来(将来)について
(夢・希望・職業・生き方など)
- ⑤ 今現在、学校(高校・大学・短大・専門学校など)
卒業後、いずれは中能登町に住みたいと思ってい
ますか？それとも思っていないですか？
- ⑥ 中能登町並びに議会に希望することや期待するこ
とがあったら、何でも、いくつでも述べてください



【写真左から 田中童夢さん 佃玲偉さん
定塚利心さん 井上莉里さん 西村彰馬さん】

【会長 田中童夢さん】

回答

- ① 頭の良い人が集まる場所
- ② 自薦 → 学校をより良くしたいと思った
- ③ 良かったこと → 大勢の前でも堂々と話ができるようになった
良くなかったこと → ありません
- ④ 野球が好きなので、野球に携わった仕事がしたい
- ⑤ 今はまだわからない
- ⑥ 大学での学費を町で負担してほしい

【副会長 佃 玲偉さん】

回答

- ① 自分の意見をもった人が集まり、一つの目的に対して多くの意見を出し合い、より良くしていくところ
- ② 自薦 → 生徒一人ひとりが生き生きと生活でき、個性あふれる学校にしたかった
- ③ 良かったこと → 集会の司会などを経験し、人前に出ることに抵抗がなくなった
良くなかったこと → 思いつかないので多分ない
- ④ 夢や職業などはまだ決まっていないが、人の為になることはしていきたい
- ⑤ もっと中能登町の魅力について知りたい気持ちもあるが、他の地域の文化や特色に触れてみたい気持ちもある
- ⑥ 今のところありません

【書記 定塚利心さん】

回答

- ① 町の議題について話し合うところ
- ② 自薦 → 地域の方々から愛される学校にしたかったから
- ③ 良かったこと → 人前で話すのが苦手だったけど、少し慣れることができた
- ④ トライアスロン競技で、世界で活躍できる選手になりたい
- ⑤ 中能登町以外のところをまだ良く知らないの、今のところ分からない
- ⑥ 映画館があればうれしい

【書記 井上莉里さん】

回答

- ① 地域を良くするために話し合うところ
- ② 自薦 → 学校をまとめ、リーダーシップをとれるようになりたかったから
- ③ 良かったこと → 大勢の前でもあまり緊張しなくなったこと
自分から率先して行動できるようになったこと
- ④ 人の役に立ち、人を助けることができる職業に就きたい
- ⑤ 中能登町で暮らしたい気持ちもあるが、他の所に行ってみようという気持ちもあります
- ⑥ 今のところ分からない

【会計 西村彰馬さん】

回答

- ① 衆議院と参議院
- ② 自薦 → 学校をより良くしたいと思った
- ③ 良かったこと → 思っていたとおりに雑事が多かったが、でもそれが楽しかったです
- ④ 未決定
- ⑤ 田舎に住みたいと思うが、中能登町かどうかは分からない
- ⑥ もっと良い中能登町のPRをして、住民を増やしてほしい

議会活動報告 5月から7月までの議会活動

○…出席 ×…欠席 △…早退・遅刻
 -…委員外 公…公務
 オ…議長が各委員会にオブザーバーで出席するとき



さまざまな会議の議員の出欠
 状況をお知らせします。

月 日	会議名	議員名											
		古 玉 いづみ	尾 田 良一	土 本 稔	林 真 弥	笹 川 広 美	南 昭 榮	諏 訪 良 一	宮 下 為 幸	甲 部 昭 夫	坂 井 幸 雄	作 間 七 郎	
5月10日	庁舎統合建設特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
5月13日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	-	○	○	オ	-	-	-
5月14日	教育民生常任委員会	○	○	-	○	-	○	-	○	オ	○	-	-
5月14日	総務建設常任委員会	-	-	○	-	○	-	○	○	○	-	○	○
5月17日	議会行革・活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月27日	議会運営委員会	-	-	-	○	○	-	-	○	オ	○	○	○
5月31日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月5日	6月定例会議 初日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月6日	教育民生常任委員会	○	○	-	○	-	○	-	○	オ	○	-	-
6月6日	総務建設常任委員会	-	-	○	-	○	-	○	○	○	-	○	○
6月7日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
6月17日	6月定例会議 一般質問	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月19日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月19日	6月定例会議 最終日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月27日	庁舎統合建設特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
7月9日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	-	○	○	オ	-	-	-
7月16日	教育民生常任委員会	○	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-
7月16日	総務建設常任委員会	-	-	○	-	○	-	○	○	○	-	○	○
7月18日	議会運営委員会	-	-	-	○	○	-	-	○	オ	○	○	○
7月18日	議会行革・活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
7月31日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月31日	7月随時会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議会からのお知らせ

9月定例会議の日程

- 9月5日(木) 10:00 定例会議 開会
〔議案上程・提案理由説明・質疑など〕
- 9月6日(金) 10:00 教育民生常任委員会
13:30 総務建設常任委員会
- 9月9日(月) 10:00 予算決算常任委員会
- 9月10日(火) 10:00 予算決算常任委員会
- 9月11日(水) 10:00 予算決算常任委員会
- 9月12日(木) 10:00 予算決算常任委員会
- 9月17日(火) 10:00 予算決算常任委員会
- 9月18日(水) 10:00 一般質問
- 9月19日(木) 10:00 一般質問 (予備日)
- 9月24日(火) 10:00 各委員会
(予算決算・総務建設・教育民生)
- 13:30 全員協議会
- 15:00 定例会議 最終日
〔委員長報告・質疑・討論・採決〕

ぜひ傍聴にお越しください。定例会議はケーブルテレビ「なかのとチャンネル」で中継します。



ようこそ中能登町議会へ

7月4日と11日に、中能登町へ他市町議会から視察に訪れていただきました。

★福岡県那珂川市議会

- 移住トラブル防止への手引書作成について

★福島県猪苗代町議会

- 健康づくりについて



中能登町の移住トラブル防止への手引書作成を説明

長曾川水防事務組合 議会報告

(組合議員：坂井幸雄議員、林 真弥議員、古玉いづみ議員)

令和元年6月4日 組合議会第一回定例会

平成30年度決算額 212,386円

(主に福田、能登部地区の水防倉庫の需要費)

令和元年度予算額 281,000円

全会一致で決算認定・予算可決

水害・土砂災害の防災情報の伝え方が2019年6月より変わりました。

警戒レベル①～⑤

- ① 心構えを高める
- ② 避難行動の確認
- ③ 避難に時間を要する人は避難！
>>> 高齢者等は避難！
- ④ 速やかに安全な場所へ避難！
>>> 全員避難！！
- ⑤ すでに災害が発生している状況！

地域の皆さんで声をかけあって、逃げ遅れゼロへ！
長曾川水防事務組合は、羽咋市・中能登町で、長曾川の災害に備えて運営しています。

(報告者：古玉 いづみ議員)

議会モニター募集中！

議会は、町民からの議会運営などに関する要望、ご意見をいただき、議会運営に反映したいと考えています。

どんな人がモニターになれるの？

- ① 年齢満18歳以上の町民
- ② 町議会の仕組みや運営に関心がある方
- ③ 町政や地域社会の発展に関心がある方

モニターのお仕事って？

おもに下記の①から③について意見などを文書で提出していただきます。また、年1回以上、議会との意見交換会があります。

- ① 会議を傍聴した意見・感想
- ② 議会だより「とびら」の意見・感想
- ③ 町ホームページの議会内容の意見・感想

会議の傍聴は、年間会議の月1回以上の傍聴をお願いします。

モニターの期間はどれくらい？

モニターの任期は2年です。
まずは議会事務局までご連絡を下さい。(TEL 74-2808)



ありがとうございます

家族の声

久江にお住まいの
袋井さんご一家



中能登町の魅力は？

住んでいると魅力は分かりづらいが、定住促進事業や子育て支援など、考えてみれば大きな不満がないことが魅力です。

中能登町が将来どうなって欲しいですか？

少子高齢化や人口減少など嘆くだけでなく、将来子ども達が都会に行っても帰って来なくなる町や、都会より田舎のほうが住みやすく暮らしやすいと思える町になって欲しい。

中能登町議会に対する感想

ケーブルテレビで一般質問を見ました。内容が分からず、何が問題でどうしたいのかが理解できなかった。

町民の声を届けるはずだが、ピントの外れた内容に思えた。

問題点や解決策を分かりやすくして欲しい。ちなみに、ケーブルテレビの視聴率が気になった。

募集中!



議会をよりわかりやすくPart3

議会の取り組み

中能登町議会では3、6、9、12月の5日に始まる定例会議以外に
どんな取り組みをしているのかを今回はお伝えしていきます。

常任委員会・・・総務建設委員会、教育民生委員会に分かれて毎月一回審議します。
予算決算委員会は定例会議時に全員で審議します。

特別委員会・・・広報、庁舎統合建設、議会・行革活性化の3委員会があります。

議会運営委員会・・・議会日程の協議、議案の各委員会への割り振り等を行います。

全員協議会・・・月末に議員、執行部が集まって委員会協議についての報告、質疑が行われます。

視察研修・・・各常任委員会視察、全体視察、広報研修、議員研修等があります。

議会報告会・・・地区、各種団体等に出向き報告会で意見交換を年4回程行います。

中能登町議会の平成30年度の全会議数は108回、報告会4回、視察研修6回でした。その他の町行事や学校行事、式典や各種競技会応援等にも議会として参加しています。これからも開かれた議会、より良いまちづくりを進めてまいります！

【議会広報特別委員会】

委員長 林 真弥
副委員長 古玉いづみ
委員 諏訪 良一

尾田 良一
土本 稔
笹川 広美

編集後記

参議院選挙の投票率が過去最低となりました。

すぐに大きな変化はないかもしれませんが、未来のために投票に行ってほしいと思います。政治に無関心だとしても無関係ではないられないはず。このような思いから、身近に感じる議会にと、子ども議会や親子議場見学会を実施しています。

議会広報紙も町民に分かりやすく、興味を持って頂けるよう努力していきます。

議会広報委員 土本 稔



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会